

# まきはら

議会だより

2月定例会 第22号

平成23年5月15日発行

議案を慎重にチェック……………	2
平成23年度予算 ……………	4
空き家・空き地対策を問う(一般質問) ……	7



津波避難訓練を実施(地頭方小)

# 条例を可決 条例は否決



## 2月定例会

今回の定例会では、平成23年度当初予算などの議案24件が提出されました。

連合審査会及び各常任委員会で慎重に審査され「環境美化条例の制定について」は、賛成少数により否決し、その他23議案は、原案どおり可決しました。

なお、一般質問は3月8・9日の2日間行われ、10人が当面する課題について見解をいただきました。

### 議案に対する質疑・討論

#### 平成23年度 一般会計予算

【賛成多数可決】

#### 《反対討論》

原子力防災の強化を指摘してきたが見直しが無い。市民が意思決定できる情報公開と議論の場がない。少子高齢化に向けたまちづくりが不十分。一般会計で運営が厳しい国保会計を支える配慮が必要。  
(大石)

#### 《賛成討論》

起債額が大きく増える中、榛原病院の負担金や市消防署所建設費、子育て支援のための各種事業、弱者支援など、市民に密接した事業の予算計上のため妥当と思われる。  
(鈴木ち)

#### 一般会計補正予算

Q 中期的な財政調整基金積立及び市債償還の計画は。

(大石)

#### 国民健康保険 特別会計予算

【賛成多数可決】

#### 《反対討論》

高すぎる国保税を下げる手立てはないのか。市長は「国民健康保険は相互扶助の制度。一般会計からの繰入れは考えていない。」を改め、一般会計からの計画的繰入れを行い、減税対策を考えるべき。  
(衆田)

#### 《賛成討論》

医療費の財源となるのが国保税や国・県の負担金で、特に国保の税収確保は極めて重要なこと。市では積極的に国保財政の確保に努め、状況は議論が必要で市国保運営協議会にて審議いただいている。  
(鈴木ま)

【全員賛成可決】

A 見通しが難しい財政状況で、現在、短期財政計画として示している。

(大石)

#### 指定管理者の指定について

(さがら子生れ温泉会館)

【賛成多数可決】

Q 非常勤役員10人に対する毎月20万円の報酬は、公設の施設の運営として、市民の理解が得られる妥当な金額とは思わないが。

(太田)

#### 《賛成討論》

次の理由により議案に賛成する。

A 独立採算制というルールに基づきやっているの、一人20万が高いか安いかの答弁は差し控えたい。

#### 《反対討論》

「公の施設」は、住民の福祉のためにあり、民間事業者が収益を上げるためのものではなく、収益は自治体と住民に還元すべきもので

①選定手続き、選定経過ともに瑕疵がないこと。  
②現管理者の運営に関する批評等は、今後の協定書締結にあたって協議すべき事項であること。  
(増田)

#### 榛原郷土資料館条例廃止

【全員賛成可決】

Q 文化財保護条例第1条にある「その保存及び活用のため必要な措置を講じ、もつと市民の文化向上に資することを目的とする」とある。方向性が明確でないままでの榛原郷土資料館の廃止は、この条例に違反しないか。

(衆田)

A 相良史料館を牧之原市の資料館として位置づけ、2階ホールに展示スペースを確保したい。市内の無形文化財や出土品の展示など考えている。当館の耐震補強工事も予定している。

Q 文化財保護条例第1条にある「その保存及び活用のため必要な措置を講じ、もつと市民の文化向上に資することを目的とする」とある。方向性が明確でないままでの榛原郷土資料館の廃止は、この条例に違反しないか。

(衆田)

A 相良史料館を牧之原市の資料館として位置づけ、2階ホールに展示スペースを確保したい。市内の無形文化財や出土品の展示など考えている。当館の耐震補強工事も予定している。

# 牧之原市自治基本 牧之原市環境美化

## 環境美化条例の 制定について

【賛成少数で否決】

### 《反対討論》

条例は必要であるが、罰則規定を取り入れた条例内容の極め細やかな検討をしていない。また、住民説明会などの機会を作って理解を得るなどの地道な活動を行なっていない。(良知)

### 《賛成討論》

この条例は、取り締まるためのものではなく、市民が協力して、まちをきれいにするためのマナー条例である。条文については、趣旨に問題がなければ法令審査会を尊重して、議会では一定の指摘にとどめるべき。(太田)

## 原発立地地域における固定資産税の特例措置に関する一部改正

【賛成多数可決】

### Q ①企業誘致及び既存企業

業の市への貢献にどのような効果があるのか。  
②条例に該当しない企業との不公平性の解消は。

(大石)

### A ①現行ではスズキ一社

のみであるが、その減免は平成21年度から3年間で合計10億6千万円。本来の税収は23億5千万円見込むものであるが、地方交付税で収入される制度であり、実質2億7千万円の税収減である。この適用によって企業と信頼関係が増幅され第2弾第3弾の投資を呼ぶことを期待している。

### ②法の下での不均一課税

であり、公平の侵害面より公益性がある場合適用するもの。地域振興のための措置で、地域限定を外してやるほど市に財政的体力はない。なお、企業支援全体的な底上げも取り組んでいきたい。

### 《反対討論》

県の地域指定企業支援策と相まって、相良地区に限定した当該条例は、地域外企業には不公平である。また二重基準であり、1市2制度や格差を助長するものである。(大石)

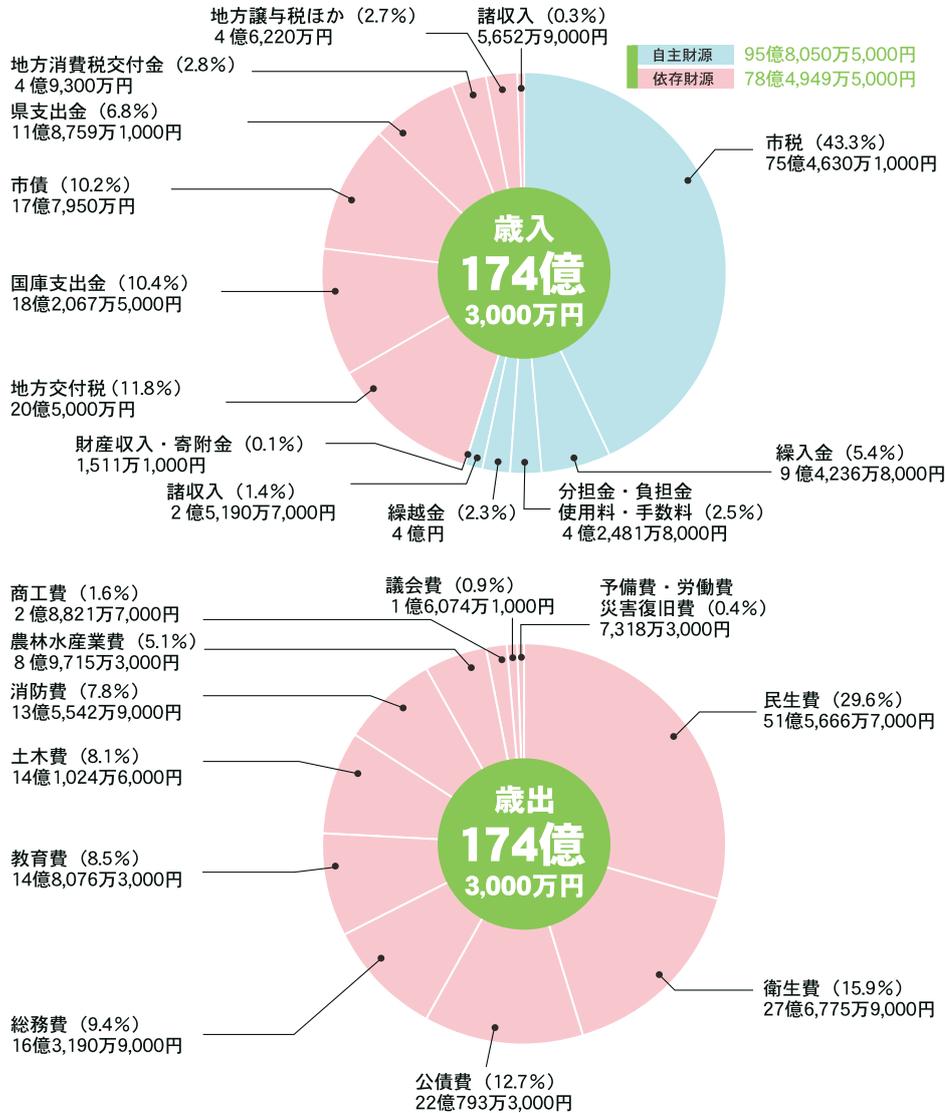
### 《賛成討論》

雇用環境は厳しい中において、大手企業の設備投資の減退を防ぐことや、国内外への事業拡散への対応を考え、条例の一部を改正し、継続していくことは賛成である。(本杉)

## 賛否が分かれた議案の採決状況

一般会計予算	賛成14 反対2	可決	《賛成》 良知 増田 赤堀 澤田 鈴木ち 中山 太田 鷺坂 本杉 中野 小杉 鈴木ま 川島 名波 《反対》 桑田 大石
国民健康保険特別会計予算	賛成14 反対2	可決	《賛成》 良知 増田 赤堀 澤田 鈴木ち 中山 太田 鷺坂 本杉 中野 小杉 鈴木ま 川島 名波 《反対》 桑田 大石
指定管理者の指定(さがら子生れ温泉会館)	賛成12 反対4	可決	《賛成》 良知 増田 赤堀 澤田 中山 鷺坂 本杉 小杉 桑田 大石 川島 名波 《反対》 鈴木ち 太田 中野 鈴木ま
原発立地地域における固定資産税の特例措置	賛成15 反対1	可決	《賛成》 良知 増田 赤堀 澤田 鈴木ち 中山 太田 鷺坂 本杉 中野 小杉 鈴木ま 桑田 川島 名波 《反対》 大石
環境美化条例の制定について	賛成4 反対12	否決	《賛成》 太田 中野 鈴木ま 名波 《反対》 良知 増田 赤堀 澤田 鈴木ち 中山 鷺坂 本杉 小杉 桑田 大石 川島

# 平成23年度一般会計予算 174億3,000万円



## 特別会計・企業会計の予算

会計名			平成23年度	増減額	前年対比
国民健康保険			52億9,110万円	1億6,399万円	3.2%
後期高齢者医療			3億9,049万9,000円	△1,576万3,000円	△3.9%
介護保険			35億8,777万7,000円	1億7,625万9,000円	5.2%
土地取得			5万6,000円	△17万5,000円	△75.8%
農業集落排水事業			1,157万4,000円	△9万3,000円	△0.8%
水道事業	収益的	収入	9億8,118万2,000円	△1,353万9,000円	△1.4%
		支出	10億3,947万4,000円	△902万円	△0.9%
	資本的	収入	1億7,181万3,000円	△4,242万4,000円	△19.8%
		支出	4億2,353万円	△6,409万6,000円	△13.1%

## 議会費予算の内訳

	平成23年度	増減額	前年対比	節（項目）の説明
報酬	5,678万2,000円	2万2,000円	0.04%	議員の報酬
期末手当	1,713万5,000円	△81万6,000円	△4.5%	議員の期末手当
共済費 ※1	4,896万8,000円	3,965万8,000円	426%	議員の共済組合負担金など
報償費	20万0,000円	0円	0%	研修会講師謝礼、視察土産代など
旅費 ※2	417万1,000円	91万7,000円	28.2%	視察研修にかかる交通費、宿泊料など
交際費	15万0,000円	0円	0%	議長・議会の交際費
負担金	93万2,000円	0円	0%	市議会議長会負担金など
印刷製本費	121万8,000円	△5万9,000円	△4.6%	議会だより印刷費など
筆耕翻訳料	83万0,000円	△21万0,000円	△20.2%	会議録作成
委託料	21万0,000円	0円	0%	議場音響点検
役務費	4万8,000円	0円	0%	FAX電話料
新聞折込料 ※3	0円	△102万9,000円	△100%	議会だより新聞折込料
需用費	38万4,000円	1万6,000円	4.3%	議会図書、追録代、事務用品など
その他	74万3,000円	14万5,000円	24.2%	議員視察に伴う職員随行代など
合計	1億3,171万1,000円	3,864万4,000円		

※1 地方議会議員年金制度の廃止に伴う経過措置の給付に要する経費として、4,723万2,000円を増額して計上しています。

※2 新規として、友好都市「長野県松川町」との交流経費（全議員）を増額して計上しています。

※3 「議会だより」の配布方法が、自治会の協力でお届けする方法に変わったため、新聞折込料分が減額されています。

## 平成22年度牧之原市議会への視察受け入れ実績

### 1. 静岡県島田市議会（政務調査費研究）

内容：お茶の振興施策について（茶農家への支援、凍霜害について）

### 2. 兵庫県加古郡播磨町議会（議会運営委員会）

内容：議会報告会の運営などについて

### 3. 福岡県田川市議会（議会運営委員会）

内容：議会基本条例について

### 4. 長野県下伊那郡松川町議会（全員協議会）

内容：議会基本条例について

### 5. 静岡県裾野市議会（議会運営委員会）

内容：議会基本条例について

### 6. 山梨県笛吹市議会（常任委員会合同研修）

内容：議会基本条例について

### 7. 鹿児島県始良市議会（議会運営委員会）

内容：議会基本条例について、議会運営全般について

### 8. 長野県飯田市議会（会派 公明党所属議員）

内容：市民協働について（フォーラムまきのほら）

### 9. 愛知県春日井郡豊山町議会（全員協議会）

内容：富士山静岡空港を利活用し、空港と調和した地域づくりの現状と課題について

### 10. 愛知県丹羽郡扶桑町議会（会派 日本共産党所属議員）

内容：議会基本条例について



# 総務建設

議案11件を付託

委員長 小杉康男

# 付託議案審査

主な審議内容を報告します

## 環境美化条例の制定

地域の環境美化を推進するため定めたもの。

**Q** 6条は、「市民等、所有者等及び事業者」とすべきでは。

**A** あえて「所有者」を入れると、それは市外の不在地主を指し、不在地主まで協働ということを含めるのは妥当でない。

**Q** 9条3、6号に関して主語がないが、理由は。

**A** 主語がなくとも全体を示すので良いと判断した。

**Q** 15条罰則の部分で、どういった手続きがあるのか。

**A** 内容的に代執行までいく様子を規則として定める予定で、行政罰ということをやっていく。

**反対討論** 条例の内容がまだまだ不備である。

**賛成討論** あくまで取り締まるための条例ではなく

マナー条例であり、詳細は一般常識の中で考えればよい。

採決の結果、賛成少数で否決した。

## 自治基本条例の制定

まちづくりに関する基本的な事項を定めたもの。

**Q** 外国人参政権の関係で、市政に介入することを容認するようにとれるが、どう考えているのか。

**A** 市民の中には当然外国人も入るが、この条例を制定したからといって参政権が得られるということにはならない。

討論はなく、採決の結果、全員賛成で可決した。

## 平成23年度一般会計予算

### 反対討論

国保税が高いから下げてくれという市民の声が圧倒的に多い。一般会計からの繰入れを行うべき。

### 賛成討論

中には、今回の予算は妥当である。

採決の結果、賛成多数で可決した。

その他8議案については討論はなく、採決の結果、全員賛成で可決した。

# 文教厚生

議案7件を付託

委員長 中野康子

## 指定管理者の指定（さがら子生れ温泉会館）

平成23年3月31日に指定期間が満了するに当たり、次期の管理者を募集したところ7者の応募があった。

指定管理者選定委員会を4回開催し、「有さながら産業開発くらぶ」を再度選定した。

**Q** 地域で地場産品等を販売している。場所代を取っているのは事実か。

**A** 承知している。再検討すべきである。

**Q** 役員報酬額を承知して選定したか。役員報酬の公開、外部審査を定期的に実施すべきである。

**A** 金額は明確には承知していない。情報公開や外部審査等については、指定管理者制度の中で検討したい。

**Q** 5団体から虚偽記載の指摘がある。事実確認をしているのか。

**A** 名古屋大学の教授とのメールを確認している。

その他、地域への利益還元、修繕積立金の見直し、支配人の審査項目、議会への提案時期、入館者の増と売上高の減、等々の質疑答弁があった。

### 反対討論

結果を左右する審査項目と配点が公平性を欠き、地域振興や住民福祉の向上の視点が配慮されていない。また、支配人の人材育成などがなされていない。さらには、市職員では管理者に行政指導しにくい状況があること等から反対する。

### 賛成討論

公募や選定のあり方を検討すべきであったが、選定委員会で慎重審議されたと解釈する。地域振興のために土地提供した経緯などを踏まえ、管理者と十分協議することを前提に賛成する。

採決の結果、賛成多数で可決した。

その他6議案については討論はなく、採決の結果、全員賛成で可決した。

# 市政を問う



増田 伸三 議員

10人が  
質問

## 問 空き家・空き地対策を問う

### 答 地区の協力を得て進めたい

今後予想される空き家・空き地の増加について次の4つの質問をした。

**問** 空き家・空き地の発生は、建築材料の飛散、火災や不審者の侵入による犯罪の発生、雑草の放置による農作物被害等の障害をもたらす。市の相談窓口はどこか。

**答** 内容により窓口が異なる。概ね次のとおり。

空き家	防災	…	防災室
	防犯	…	環境室
	環境	…	都市住宅室
空き地	取り壊し	…	農業委員会
	改修	…	環境室
	農地以外	…	市民相談センター
解らないとき	…		



空き家。壁やドアにはツタが絡まり荒れ放題。人が住んでいる様子は全くない。

**問** 相続人がわからなくなり、固定資産税の課税に支障をきたすことはないか。

**答** 通知や届出が義務付けられているが、親族関係の希薄化などにより特定作業が困難となる傾向がある。相続人の不在による固定資産税未納額は22年度税額で38万4400円。

**問** 空き家・空き地の適正管理についての条例はあるか。

**答** 本議会で上程する「牧之原市環境美化条例」で定め、農地については農業委員会が農業指導を行い管理している。

**問** その他のような施策があるか。

**答** 空き家の把握が必要なので、地区の協力を得ながら進めたい。空き家の雑草について指導、耕作放棄地の解消を進めたい。

## 鈴木 千津子 議員



### 問 自主財源を増やす施策を考えるべき

### 答 住宅の増加や企業誘致を推進したい

行政の長として、財政難の続く牧之原市をどう立て直していくか基本的な考えを示されたい。

**問** 平成21年3月新庄田んぼについて質問したが、その後どのような整理・検討をしたか。

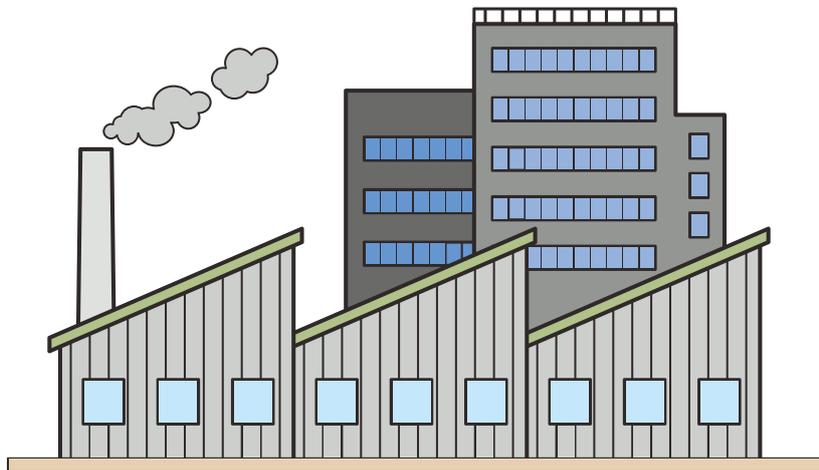
**答** 平成20年度に工業団地整備の現地調査を行った。

良好なアクセス条件、一面平坦な土地ゆえ造成コストも安価、牧之原農業水利事業の受益地にもなっている。

しかし新規事業の土地利用は大変厳しい状況である。

**問** 現状を打破する検討はされなかったようだ。地域住民は地元選出の市長ゆえ多くを期待しているが。

**答** 青地など法律をクリアするのは大変。国は食糧増産のため、農地を守る施策をとっている。



**問** 財政難解消のため、企業誘致をはじめどのような施策を講ずるか。

**答** 市税の増大を図るには人口増加と優良企業の誘致とされてきた。しかしリーマンショック以降景気が低迷し、工業団地が整備されていないことが当市の課題である。

**問** 市となつて6年、収入の見込まれない想定外の支出として、榛原病院の移行直前の半年間に20億円。

今後さらに、相良消防署建設費15億(その他、地頭方分遣所約4億)が見込まれている。

支出を行使する際は当然収入増を考えるべきである。今後の税収増のためにも新庄田んぼや東萩間の工業団地等再検討するべきでは。

**答** 市民の将来の安心安全のため。市の今ある企業を守っていくための判断だった。



## 中野 康子 議員

### 問 障害児の子育て支援をどうする

### 答 支援ヘルパーの派遣制度を検討

**問** 母子・父子家庭の子育て支援は、資金の融資や助

成手当ての支給なども重要な柱ではあるが、相談窓口の充実、訪問支援、病児保育などによる支援については、どう考えているか。

**問** 高齢者介護施設に知的障害者、障害児を受け入れている施設はあるか。障害児の子育て支援はどう考えているか。

**答** 市内にそのような施設はない。支援ヘルパーを派遣する制度を検討したい。

**答** つくしの家、つくしホームなどが拠点となって、生活訓練などの指導をしている。ショートステイが市内にないことは問題である。

**問** 市が主体となって民間を誘導して欲しい。牧之原方式と言われるような子育て支援を期待したい。

**答** 子育ての原点は、親と地域がしっかり育てること。いろいろな支援手段を充実させたい。お年寄りの経験を活かすなど、民間の活力を借り、行政、関係機関との連携づくりを考えたい。

**問** 消費者相談窓口を充実すべきだ

**答** 相談員の増員と通訳の配置を検討

**問** 相談窓口の充実や相談員の専門性を十分発揮できる環境づくりが重要である。専門職としての処遇をしているか。

**問** 日本語が十分理解できない外国人のため、相談日を定めて、通訳を配置したかどうか。

**答** 外国人の相談は増える可能性があるため検討する。

**答** 本年度の消費者相談件数は、前年度の102件に対して、2月末時点で既に351件である。常勤の消費生活相談員を1名増員し、常勤2名体制としたい。相談員の処遇改善、各部署との連携強化を図っていく。



相談しやすい環境に配慮したセンターの窓口



## 中山 香 議員

### 問 新消防体制の数字マジックに疑問

### 答 今まで以上の市民サービスが確保できる

相良地域消防体制構想報告書(案)が示され、説明を受ける中で疑問を感じ、質問をする。

**問** 人口集中する市街地に消防署を建設すれば、当然救急車平均到着時間は短縮できるのでは。

救急車の走行距離は、1分間で60m、20分で12km、仮に人口比が10対1とすると、3分で到着する現場からの要請が10回、20分で到着する現場から1回となる(3分×10回+20分×1回)÷11＝4分30秒

署から離れた現場の到着時間が変わらなくても、平均時間は短縮され優れた救急体制となるのでは。

**答** 県内の消防本部の算出方式と同様に相良地区の出動件数を区ごとに算出し平均時間としたものである。

大沢IC付近は、平均到着時間7.1分で、造成費も安価なことから決定した。



消防署所の適正配置図(牧之原地区と静波地区)

**問** 市内には、企業進出により住民登録と異なる人口数の地域が存在していることも考慮に入れなければならないのでは。

**答** 管轄区域の人口数は近隣消防同様、定住人口を基準にするため進出企業の従事者数はカウントしない。

**問** 平均ではなく、真の到着時間7.7分をクリアするには、消防署所適正配置図に示された牧之原IC付近と静波地区の分遣所の一日も早い設置が必要である。この2ヶ所の分遣所の設置は、いつ頃を予定しているのか。

**答** 適正配置図には示されているが、今回の計画は平成27年までの計画であり、2ヶ所の分遣所設置時期については、全く決まっていない。

# 一般質問



## 鈴木 正樹 議員

### 問 牧之原市の雇用創出は

### 答 県へ制度の延長を求める

**問** 市の就職支援策は。

**答** 産業雇用支援ネットワーク会議の意見を基にいくつかの事業を行っている。一つ目は、インターンシップ事業で、雇用につながった。二つ目は、市内企業の現地見学会。学校側に企業の求める人材および中小企業にも雇用意欲があることを理解していただくこと。更に、高校生の未内定者への支援として、訪問や電話により市内企業に追加雇用をお願いし、数名を雇用に結びつけた。

**問** 市内の労働者の把握は。

**答** 市内には、「榛南地区労働者福祉協議会」「榛南地区勤労者共済会」があり、財政援助を行い、労働者の状況把握に努めている。

**問** 緊急雇用創出事業を今後も継続していくのか。

**答** 国の緊急雇用対策として平成21年度から平成23年度までの3年間、県に造成した基金を活用し、多くの失業者を臨時的に雇用することを条件に、補助率10/10で実施してきた。24年度以降も、市が単独で事業を継続することは、財政上等の理由からも困難であるため、景気の変化が見えない場合は、県を通じて制度の延長をお願いしていきたい。

**問** この事業とシルバー人材センターの委託事業との整合性はどうか考えているのか。

**答** 公園や河川等の除草作業などが含まれていて、平成20年度の発注額にして約700万円で、シルバーの年間受注額2億5000万円の約3%となる。市としては、シルバーの運営や自立に向けた取り組みは、今後も支援していくが、少なくとも、この制度が満了となる来年度までは、失業者の支援を優先していく。



就職活動

## 名波 富幸 議員



### 問 牧之原市の公共交通は

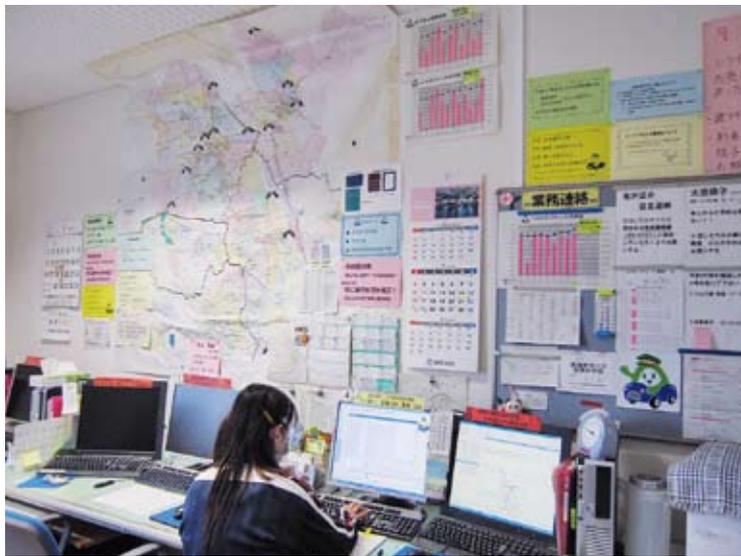
### 答 デマンド交通を検討する

**問** 市の公共交通は、少子高齢化や通勤通学体系の変化に伴い、路線バスが採算割れに陥り、減便や路線廃止がなされてきた。現在、自主運行バスで運行しているが、乗車人員が少ない。減便等も含めて精査すべきと考える。

**答** 関係部局で精査検討し、より良い自主運行バスにしていく。

**問** 現在、市の一人暮らし老人世帯、老夫婦世帯、老老世帯は2328世帯(2888人)であり、年々増加している。自主運行バスだけでは市民ニーズに答えられていないのでは。

**答** 長寿社会を迎え、通勤通学だけでなく病院への通院や買い物など、必要な時に手軽に低料金で利用できる公共交通が求められていると考える。既存の公共交通との調整など、高齢者や関係団体による公共交通の検討会を立ち上げ検討していく。



長野県安曇野市のデマンド交通オペレーションセンター

**問** 全国で37の自治体で導入している戸口から戸口への乗合タクシー(「デマンド交通」)の導入を検討する考えはあるか。

**答** 高齢化が進む中、デマンド方式もあり方の一つであると考えます。また、タクシーチケット助成なども考えられる。商工会や社会福祉協議会、民生児童委員などの福祉関係団体と検討部会を立ち上げ協議していく。

**問** 交通空白地域の高齢者や小中学生などの交通弱者支援を目指して、コミュニティバスの試験運行が実施されたが、本格運行に至らなかった理由は何か。反省点は。

**答** 市は、資金援助や法手続きなどの支援をしていくことで、地元と検討、アンケート調査の結果、賛同者が想定より少なく本格運行に至らなかった。



## 桑田 幸一 議員

### 問 住宅リフォーム助成制度の創設を

### 答 経済効果などを含め、検討したい

制度創設について、昨年9月議会で提案した。市は、「TOUKAI・O」支援事業を優先的に推進したいとの答弁であった。

再度、市独自の緊急経済対策として取り組むよう求めたい。すでに全国では180を超える自治体が実施して

おり、この制度は地域経済に大きな効果をあげていることが報告されている。本年1月28日の首相の国会答弁もあり、静岡県や青森県なども実施するとの報道もあった。焼津市では使い勝手のよい制度創設を考えていると聞いている。牧之原市でも「TOUKAI・O」支援事業を促進する意味からも相乗効果が期待できると考える。制度の検討・創設を求めたい。

**問** 住宅リフォーム助成制度は、その経済波及効果は17倍、18倍にもなったとの報告もある。

交付金を活用し、市独自の緊急経済対策として取り組むよう求めたい。

**答** 平成22年度から始めた川根本町(3000世帯)では67件の申請で1200万円の地元商品券による補助金支給を行うと聞いている。牧之原市ではこの制度を実施した場合、地元への経済効果などを含め検討したいと考えている。



耐震・リフォームの工事中

**問** 市が行う「TOUKAI・O」支援事業はここ3年間で耐震補強助成事業の実施件数は49戸、年平均約16戸です。幅広い業種への波及効果を考えるとセッとした取り組みが必要と思うが、担当部長のお考えは。

**答** 川根本町でこんなに申込みがあったのに驚いている。牧之原市でも費用対効果、ニーズがどの位あるか、耐震補強助成制度との併用など合わせて、検討等していきたい。

## 大石 和央 議員



### 問 耐震工事期間中の図書館はどうなるのか

### 答 休館となるが移動図書館車で代用する

**問** 榛原文化センターでは、2012年度に耐震補強工事が予定されている。工事による図書館休館で、市民サービスが低下しないように代替施設を考えられないか。

**答** 工期などの詳細は補強計画や実施設計が行なわれて明らかになるが、最長で10ヶ月ほどと思われる。この間の図書館休館の対処として、移動図書館車の利用を考えている。

**問** 耐震工事に合わせてフロアスペースの拡張を考慮すべきではないか。

**答** 図書館隣室の和室は、文化協会やはりはら塾など多くの皆さんが利用していることから、限られたスペースなので拡大することは考えていない。

**問** スペース拡張を再検討してほしい。また、エレベーターの設置はどうか。

**答** 補強工事の際は、高齢者や障害者などの皆さんの利便性や荷物運搬などを考え、エレベーターの設置を計画している。

**問** 当面の図書館整備についての基本的な考え方を伺う。

**答** 2013年度までに基本計画をまとめる。今後3年間で新館の建設または、既存の公共施設を整備するケースなど様々な検討をしていく。

### 問 榛原地区の歴史文化の継承は

**答** 相良史料館を改修して保存・展示する

**問** 榛原資料館廃止後の歴史文化をどのように継承するのか。

**答** 相良史料館の耐震補強工事に合わせて2階ホールを改修し、一ヶ所で見学できるようにしたい。

**問** 坂部の堂ヶ谷遺跡が空港建設で消滅した。重要な遺跡であったが、今後はその歴史解明と出土品の保存をどうするのか。

**答** 出土品の所有権は県にあり、管理保存をしている。市としては現在発掘調査している宮下遺跡や調査済みの白百合遺跡など、全体的な解明をしていきたい。出土品保存は相良史料館で行ない、今後は展示していきたいと考える。



榛原図書館

## 一般質問



### 小杉 康男 議員

## 問 火葬費用の公平性と今後のあり方は

### 答 構成市町また両組合と協議していく

**問** 同じ牧之原市民であるにもかかわらず火葬場使用料に格差がある実態について、市長はどのように考えているのか。

**答** ご指摘のとおり、市内の介護施設であっても、広域施設組合の区域を越えて住所を移転した場合、火葬場使用料が発生する状況にある。

市民からも同様の意見があるが、組合規定ということもあり、そのままとなっている。

これを機に、早急に市内の取扱いを含め、広域施設組合の区域外施設に住所を移した方や学生までも含めた形で免除や減免措置が可能かどうかについて、他市町の対応を考慮に入れながら、構成市町ならびに両組合と協議していく。

## 問 牧之原市のビジョンは

**答** 市民と一緒に取り組んでいく

**問** 牧之原市ビジョンを伺う。市民が将来の展望を描けるような夢のある施策について、どう考えているか。

**答** 可能性の高い取り組みや牧之原市の夢について、様々な経験を持った市民と創りあげていくことが必要である。

このためにも、人材の育成が必要であり、「夢」に向かっての議論の場や機会を創設する取り組みが必要である。

市役所のみで行えることは限られているが、市の職員や市民が一緒になって「幸福実現都市」づくりに取り組んでいくことが大事であり、夢に繋がるものだと考える。



## 良知 義廣 議員



### 問 職員の人材育成基本方針の策定は

### 答 現在、職員のために基本方針を策定中

平成9年11月、国は地方公共団体に対し、地方自治・新時代に的確に対応していくための人材育成基本方針の策定指針を示している。

**問** 牧之原市においては、職員の人材育成の基本方針を策定中とのことであるが、どのような観点に立って策定しているか。

**答** 目指すべき職員像は、「市民目線で自ら問題発見・解決する自立した職員」とし、これからの市政を担う職員を育成するために人材育成基本方針の策定を進めている。

策定にあたっては、「職員」「職場」「制度」の3つの観点で考え、「やる気を引き出し、育てる」ことを主眼に置き、自治基本条例の主旨に添った人材育成を進めていきたい。



市民目線の職員をめざせ!!

**問** 策定後、具体的な運用は、どのように実施していくのか。

**答** 市にあった人事制度（採用、配置、昇任、評価）を、育成方針に基づいた総合的な人事システムとして構築し運用するとともに、研修の機会を通して職場環境や組織風土の改善を進める。人との対話を推進することで、職員が志・誇り・絆を持てるよう意識改革を進めるとともに、目指すべき職員としての行動基準を作成し活用していく。

# 視察研修報告

H23.1.18 ~ 20

## 文教厚生委員会

委員長 中野 康子



安曇野市社会福祉協議会にて

市民の足をどのように確保していくのか、自主運行バスの代替交通について研修をしてきた。

### 安曇野市社会福祉協議会

デマンドバスの運行主体の多くは商工会であるが、安曇野市は高齢者など交通弱者の福祉向上の観点から社会福祉協議会である。

多い利用先は、病院、スーパー、福祉施設の順。実施を前提とした住民の意向調査・アンケート等を徹底的に行ったこと、オペレーターに土地勘のある地元の主婦を雇用したことが成功の鍵だったとの説明が深くに残る。

### 長野県東御市商工会

交通弱者、地域振興、商業振興の観点から、定時路線バスに加え、戸口から戸口へ送迎する新交通システム「デマンド運行」を実施し、成果を挙げている。利用者の84%が女性、80歳代が44%。強いリーダーの存在とシステムのあり方をよく検討したことが伺えた。

### 普通の暮らし研究所若井屋

障害者のデイサービスや、精神に障害を持つ方が栽培した野菜を東京方面へ出荷するなどの障害者就労支援事業を実施している。土に触れること、趣味を生かすことで心の変化があるのではないかと感じた。

### 沖縄徳洲会湘南鎌倉病院

「いつでも、どこでも、誰でも、最善の医療が受けられるようにしたい。」との徳田理事長の想いが詰まった病院には最先端の医療機器が備わっていた。いつの日か榛原病院もと、脳外科医の派遣を強く強くお願いしてきた。

## 【東日本大震災】牧之原市議会の動き

- 3月14日 ・ 全員協議会を開催（市長より地震発生後の経過説明）
  - ・ 中部電力による説明会を開催
    - (1)東京電力福島第一・第二原子力発電所の状況
    - (2)浜岡原子力発電所の状況 など
- 3月18日 ・ 義援金 39 万円を日赤静岡支部へ送る
- 3月22日 ・ 浜岡原子力発電所の安全対策について視察
- 3月29日 ・ 浜岡原子力発電所による「東北地方太平洋沖地震を踏まえた緊急時対策訓練」の視察
- 4月26日 ・ 中部電力による説明会を開催
  - (1)浜岡原子力発電所における緊急安全対策について



浜岡原子力発電所の視察



中部電力からの説明会

# 震災について 一緒に考えてみませんか!?



決壊した堤防（南相馬市）



津波で流された家屋（大槌町）



20km 圏警戒区域（浪江町）



いわき市小名浜港

## 編集後記

東日本大震災の被害、特に放射能飛散を伴う原発事故は、未曾有の災害となりました。東海大地震は避けて通れないので、他人事ではありません。

私は4月4日、被災地である福島県いわき市に、災害ボランティアに出発する市内の若者3人の車に、支援物資を積み込み同乗しました。現地では、合流した自治体議員や市民グループと共に、災害状況と聞き取り調査、また原発から20km、30km圏内の放射線測定をしました。

### 議会広報特別委員会

- 委員長 大石 和央
- 副委員長 良知 義廣
- 委員 糸田 幸一
- 赤堀 隆弘
- 増田 勳
- 仲三

「地域防災計画はまったく

## 6月定例会の日程

- 6月 2日(木) 提案説明
- 10日(金) 本会議
- 16日(木) 17日(金) 一般質問
- 20日(月) 一般質問予備日
- 23日(木) 最終日

相良庁舎4階議場 9:00～  
詳しいことは 議会事務局  
電話 53-2650 へ